

|   |  |      |            |   |        |                                  |                               |
|---|--|------|------------|---|--------|----------------------------------|-------------------------------|
| 科目区分  | 専門教育科目   | 科目名  | レクリエーション理論 | 科目コード   | 17F500 | 担当者                              | 井手口 弘明                        |
| 対象学生  | 介護福祉士コース1年生  | 学期区分 | 前期         | 単位数   | 2      | 卒業要件                             | 選択                            |
|   |  |      |            |   |        | 免許・資格要件                          | レク・インストラクター必修                 |
| 科目の主題   |  |      |            |   |        | 学修成果との関連（大◎、中○、小△）               |                               |
| レクリエーション・インストラクターの資格取得に向けて、基礎的な理論を学び、レクリエーションの考え方や実践的な力を身につけることを目的とする。                                  |  |      |            |   |        | 1. 「 <u>尽心</u> 」<br>誠実な人柄と人間力    | 2. 「 <u>創造</u> 」<br>高度な知性と創造力 |
| 科目の到達目標   |  |      |            |   |        | ① 誠実性・真摯性                        | ② 多様性・協働性                     |
| 1.  | レクリエーションの制度や意義・目的を理解し、レクリエーション・インストラクターの役割について理解する                           |      |            |   |        | ③ 知識・技能                          | ④ 思考・<br>表現考・<br>創造断力         |
| 2.  | 幼年から青壮年・高齢者に至る全ての人のライフスタイルにおいて、豊かな人生づくりを支援するレクリエーション                         |      |            |   |        | ⑤ 実行体<br>力性・<br>自立性              | ⑥ 就業力・<br>貢献力                 |
| 3.  | 対象者個人のアセスメントに基づいてプログラムを計画し、実施、評価する実際について学習する。                                |      |            |   |        | ○                                | ○                             |
| 4.  |  |      |            |   |        | ○                                | ○                             |
| 5.  |  |      |            |   |        | 成績評価の方法と割合                       |                               |
| 授業方法  |  |      |            |   |        | 受講態度（40%）<br>定期試験（60%）           |                               |
| ○教科書を基本として必要に応じてプリントを使用し、板書をしながら講義形式で行う。<br>○事例やエピソードを取り入れながらわかりやすく説明を行う。                               |  |      |            |   |        |                                  |                               |
| 準備学修  |  |      |            |   |        | 課題等への対応                          |                               |
| ○「レクリエーション＝楽しさ」を理解し、日頃から笑顔で人と接するように心がける。<br>○レクリエーションの発祥の地としての長崎の歴史や、高齢社会でのレクリエーションについて文献に目を通しておく。（15分） |  |      |            |   |        | テキストの読み上げを、学生に読んでもらうことで意識の高揚を図る。 |                               |
| 授業計画  |  |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第1回   | I. レクリエーションの基礎理論 第1章 レクリエーションの意義 1. レクとは？                                    |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第2回   | 2. レク運動の歴史とその背景 3. レクへの期待 4. 「支援者」にとってのレク                                    |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第3回   | 第2章 レクリエーション運動を支える制度 1. レク運動の使命 2. 公認指導者制度 3. レク組織                           |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第4回   | 第3章 レクリエーション・インストラクターの役割 1. レク支援の考え方 2. レクリエーション・インストラクターに期待される役割 3. 学習仮題の概要 |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第5回   | II. レクリエーション支援論 第1章 ライフスタイルとレクリエーション   |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第6回   | 第2章 高齢社会の課題とレクリエーション 1. 高齢社会の課題  |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第7回   | 2. 個人への働きかけ 3. 集団への働きかけ 4. 環境への働きかけ  |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第8回   | 第3章 少子化の仮題とレクリエーション  |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第9回   | 個人への働きかけ 集団への働きかけ 環境への働きかけ   |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第10回  | 第4章 地域とレクリエーション  |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第11回  | III. レクリエーション事業論 第1章レクリエーション事業とは   |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第12回  | 第2章 事業計画 I   |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第13回  | 第3章 事業計画 II  |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第14回  | 第4章 レクリエーション活動の安全管理  |      |            |   |        |                                  |                               |
| 第15回  | IV. コミュニケーション・ワーク ホスピタリティとは、アイスブレイキングの意義                                     |      |            |   |        |                                  |                               |
| 教科書・参考書   |  |      |            | 受講生へのメッセージ  |        |                                  |                               |
| 「レクリエーション支援の基礎」（財）日本レクリエーション協会編   |  |      |            | レクリエーションは支援者一人ひとりの「楽しさ・心地よさ」を活用した取り組みが充実していくことによって達成されると考えられます。それゆえに、これからレクリエーションを始める皆さんに、とても大きな期待をしています。 |        |                                  |                               |